

# 花壇並に花壇用草花年中行事

—(六)月—

日比谷公園花壇係

富 本 光 郎

## 春植球根類の掘上げ

チウリツブ、ヒヤシンス、アネモネ等春植球根類は今月中旬頃になると葉が褐色に枯れて来るから掘上げて貯蔵する。此時名稱など間違はない様十分注意し、附着物土壌等を綺麗に取除き二、三日日蔭に並べてよく乾燥し箱又は袋等に入れて秋植込むまで空氣の流通よく又鼠などに害されない所に貯蔵しておく。少量の場合は物置などの天井に釣り下げておくのが一番安全である。

春候のものでも水仙等は掘上げる必要なく、その儘その場所に植えてよいので二、三年位掘り上げない方が却

つて球根は肥大し大花を開くものである。

左に掘り上げる必要があるものと然らざるものとを掲げておく。

掘上げる必要があるもの、

ヒヤシンス、チウリツブ、アイリス、クロツカス、フリージャ、早咲グラヂオラス、アネモネ、イキシヤ、ムスカリ、レナンキユーラス、オーニンガラム、スパラキシス、トリトニア、バビアナ等

掘上げなくてよいもの、

水仙、チャイヌンアイリス、アガパンサス、ブロードイアオキザリス、シラー等

## 草花の採種

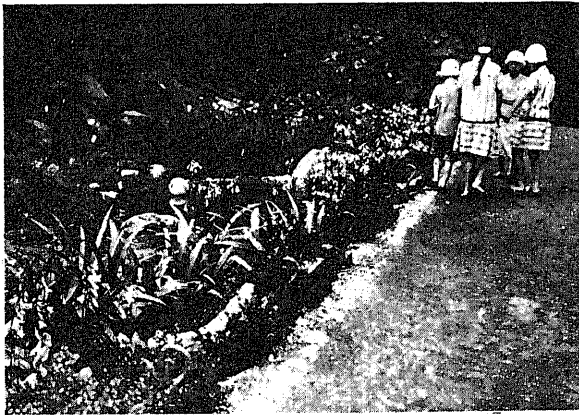
三月下旬頃より開花してゐる秋蒔の二年生草花類——ス

トツク、パンジー、金盞花、ルピナス、勿忘草、シレネ、シネラリヤ、アリツサム、ネモフィラ——等は花を終り結實して来るから、完熟したもののから順次採種して前記球根同様冷涼な場所に貯藏しておく。

こうして自家で精撰採種したものであれば、秋になつて種苗商で購入したのものなどより發芽も確めて確實にて安心して播種することが出来、又興味も深いものである。

### 野生草花の採集

西洋草花などにはでな花壇を造る一方、附近に日歸りの旅行などした折左記の様な山草野草の類を採集して持ち歸り、別にロックガーデンなど造らずとも庭の木の下又は



部一のンデーガクツロ園公谷此日

石の縁などに山野にそれ等の生育してゐた場所となるべく同じ状態に植込んでおいてやれば、年と共に繁殖してつゝ、ましやかに開花し西洋草花などを作るのとは違つた特殊の深い楽しみのあるものである。

#### 一、春開花するもの

おきなぐさ、ゆきわりさう、いちりんさう、にりんさう、さんりんさう、さくらさう、えびね、きんらん、ぎんらん、いかりさう、やまぶきさう等

#### 一、夏開花するもの

くりんさう、すゞらん、くまがいさう、あつもりさう、あざみ、ぎぼうし、つきみさう、さぎごけ、しやが、やぐるまさう、かはらなでしこ、もうせんごけ、いしもちさう

#### ひめしやくなげ等

#### 一、秋開花するもの

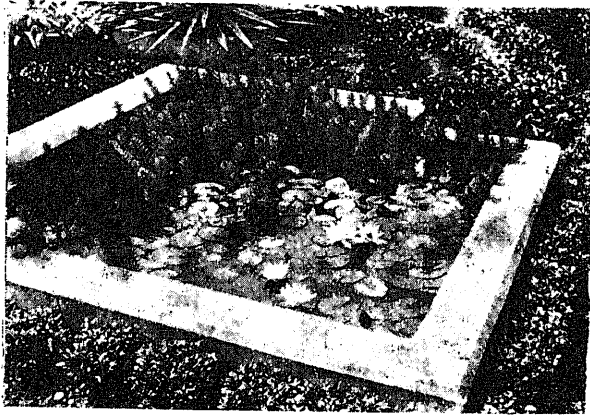
ききよう、りんどう、しゆうめいぎく、おけら、ほと

いぎす、おみなへし、おとこへし、ふぢばかま、よめ  
な、こんぎく、つはぶき等

## 睡蓮の手入

今月から七月、八月頃にかけては何と云つても水の中の花の喜ばれる時で殊に睡蓮は泉の女神ナイヤデスの化神として傳へられる物語的な花として又夏の水の世界の女王として水栽植物中第一の人氣を荷つてゐるもので、又それだけの品位と美しさを持つてゐるものである。

大體三月下旬頃植込んだものならば今月初めより開花を始めてゐる筈であるが、これを作る上に極く必要なことは水の清らかで冷たくないこと。芽先に十分日光の當ること、肥料を十分施すこと、蚜蟲を十分驅除すること、等であるから十日に一回位水のと  
り替へと外廻りの黄色くなつた古い葉や古い花を取り除く



も さ ふ ほ お と 蓮 睡 姫

こと。二十日に一回位棒鍊を一本宛一鉢に施用すること。蚜蟲の發生した時は藥劑の撒布等を常に注意して怠らない様にすれば次々と開花してくれるものである。

デジー、アルメリヤ等

## の花後の管理

春花壇で縁植などに非常に廣く用ひられたデジー、アルメリヤ、プリムラ、ポリアンサス等矮性宿根草は、抜き取つて培養場又は他の畑に持ち込み、古葉、古花を綺麗に取除き丁寧に調製して床に植付け此頃は暑さも可成激しいのであるから、暫らくの間は日覆して十分に管理し秋になつて入用の數だけに株分する。

## 其他の作業

一、中旬より梅雨期に入り雑草の繁茂も非常に速かである

から努めて除草する。

一、先月同様春咲草花の花の終つたものは抜き取つて順次初夏のものと植換を行ふ。

一、薔薇は害虫の發生激しい時であるからよく注意して捕殺し又二十日に一回位の割合で薄い液肥を施用する。

一、牡丹、芍薬等は葉のくさる病氣の豫防のため、一、二

回三斗式石灰ボルドーを噴霧器でかけてやる。

一、其他、菊、朝顔、ダリア等夫々そのもの特殊の手入に常に注意が肝要である。

## ペーカー博士講演會

□七月一日(金) 午後三時

□京橋銀座 銀座教會に於て (邦樂座の川向ふ)

□講師 ペーカ女史 通譯 村岡花子女史

ペーカー女史は米國のエバンストン市にある教育大學の總長にして、特に幼兒教育に於てはコロンビアのヒル女史と共に權威者である。

□一般の來聽を歓迎する

□主催キリスト教保育聯盟